

# 世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地ミニ情報 2020.3.15 No.374 東京・羽村平和委員会発行



## CVオスプレイ タイで多国間軍事演習に参加 3月9日帰投

2月19日、横田基地を離陸したCV-22Bオスプレイ4機が、タイで行われていた多国間軍事演習「コブラゴールド2020」に参加し、3月9日、嘉手納基地から岩国基地を経て、横田基地に戻ってきました。

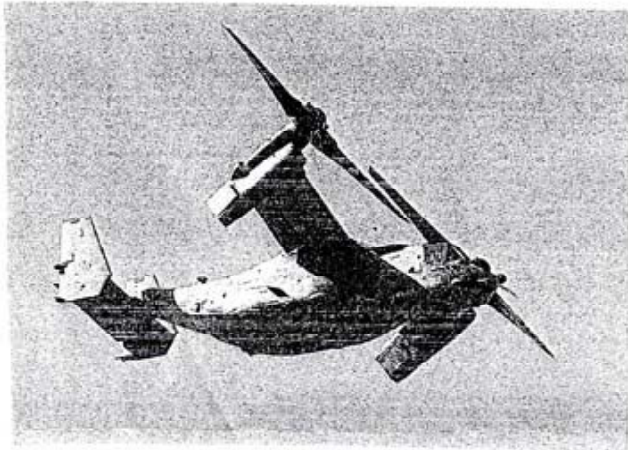
CVオスプレイ4機は8日に嘉手納基地に着陸していたことがわかり、9日には岩国基地を14時42分に離陸し、横田基地には16時22分に離陸しました。

このCVオスプレイ4機は、着陸前に羽村市で16時19分、福生市で16時20分に目撃されていました。滑走路の南側から着陸するのではなく、福生から国道16号線を横切るように進入し、着陸したので、写真は撮れなかったようです。

タイの多国間軍事演習でCVオスプレイは、3月4日に米艦船グリーンベイの甲板上で夜間に離着陸訓練をしている写真が、5日にはパラシュート降下訓練のためにCVオスプレイ(13-0067)に乗り込んでいく写真がありました。昨年も横田基地のCVオスプレイは、コブラゴールドに参加しています。

横田基地でのパラシュート降下訓練は、毎年数百人規模で行われ、特に1月は実施されることが多いのですが、今年は、まだ実施されていません。昨年アメリカで10月と11月に相次いだ米空軍特殊作戦コマンドが死亡事故を受け、中止されているようです。しかし、タイの軍事演習でパラシュート降下訓練が行われたので、横田での再開が懸念されます。

写真、左は2月19日に離陸、右は3月5日演習に参加しているCVオスプレイ(13-0067)。



## 「水道水の安全を守りたい」パブリックコメントが行なわれた

厚生労働省は、有機フッ素化合物のビーフォス及びビーフォアを、水道水の水質管理目標設定項目に新たに追加することにし、50ナノグラム/リットルの案を示し、パブリックコメントで意見を公募していました。それが3月8日に締め切れ、3月23日の第21回厚生科学審議会生活環境水道部会において審議され、決定されます。

2月24日、有機フッ素化合物の汚染を知る学習会が開かれましたが、講師の京都大学名誉教授の小泉明夫氏は、政府案は高すぎる、10ナノグラム/リットルに、と提案していました。

多くの方がパブリックコメントを出しましたが、国民の意見が聞き入れられることを願っています。



24日、記者会見する小泉昭夫氏



1. 今回、有機フッ素化合物のピーフォス及びピーフォアを、水質管理目標設定項目に新たに追加したことに、賛成します。

有機フッ素化合物の汚染が沖縄の米軍基地周辺で問題になり、血中濃度が高いことなどが報道されてきました。私は米軍基地の近くに住んでいるので、とても気になっていました。

今年1月6日、「横田基地近くの井戸から有害物質」との新聞報道で驚きました。アメリカの健康勧告値70ナノグラム/リットルの19倍、1340ナノグラム/リットルが立川市の井戸から検出されていました。日本にはアメリカのような基準が無いため、東京都が調査しても、その結果を都民に知らせていませんでした。さらに立川市では以前から有機フッ素化合物が高濃度で検出されていたこともわかりました。基準が無いと、汚染があるのに知らずに暮らしてしまうのです。恐ろしいことです。安心できる基準を設けるべきです。

2. アメリカでは有機フッ素化合物は大きな問題になっていますが、日本では、まだ、有機フッ素化合物の健康被害が知られていません。

2019年5月15日、NHKで「クローズアップ現代 化学物質“水汚染”リスクとどう向き合うか」という番組が放映されました。そこで、2000年にアメリカで起きた健康被害が報じられました。大手化学メーカーが大量のピーフォアを製造し、排水に混ざったピーフォアが川に流され、飲み水を汚染。周辺の住民の体内にピーフォスが取り込まれていったのです。工場の下流50キロの町に住むある男性は、およそ10年間、汚染された水を飲み続けていました。そして、下痢や下血が続く難病、潰瘍性大腸炎を患い、大腸を摘出する手術を受けました。男性は「病気は、私の人生を完全に壊してしまいました。」と語っています。

ピーフォアと健康との関連は、工場周辺の住民7万人の調査から明らかになりました。住民たちの血液中のピーフォアの濃度の平均は、アメリカ人全体の20倍に達していたそうです。

血中濃度が高い人たちでは、低い人たちに比べて、潰瘍性大腸炎、精巣がん、腎臓がん、妊娠性高血圧、高コレステロール、甲状腺疾患の6つの病気の発症率が上昇していました。裁判では、6つの病気にかかった3550人に対してピーフォアによる健康被害を認定。合わせて760億円の和解金が支払われました。

また、300以上の米軍基地でも汚染が広がっています。70ナノグラム/リットルでは、高すぎる、として、州独自の基準を設定したりしています。例えば、ミシガン州では、ピーフォスは8ナノグラム/リットル、ピーフォアは9ナノグラム/リットルです。

3. 目標値は、10ナノグラム/リットルに。

今回、厚生労働省が示した案は、ピーフォスとピーフォアの合計で50ナノグラム/リットルという目標値です。これは、アメリカの体重70キロを日本では50キロの設定に変えただけで、アメリカのやり方を踏襲しただけのようです。

米環境保護局の生涯健康勧告値はピーフォス・ピーフォア合計で70ナノグラムですが、米保健当局はピーフォスの含有上限を7ナノグラム、ピーフォアは11ナノグラムと勧告しています。

京都大学名誉教授の小泉明夫氏は、がんなどとの関連のほかにも、沖縄や大阪などの汚染の高い地域で低出生体重児が多いことなど、具体的な事実を示しながら、目標値は、10ナノグラム/リットルと提言しています。しかし、この値も極めて限定的なデータに基づいたものであり、この値でも十分に安全性を担保できないと危惧しています。今後も、基準値を検討する必要がある、としています。

北海道大学環境健康科学研究教育センターでも、「アジアにおける有機フッ素化合物の胎児期ばく露が及ぼす児の健康影響」の論文があります。

ちなみに、ハーバード大学の科学者たちは、飲料水中のPFASは1ナノグラムは、有害である可能性があると言っているそうです。

水道水は毎日、身体に入ってきます。子々孫々までのことを考え、有機フッ素化合物の目標値は、とりあえず、10ナノグラム/リットルにしてください。